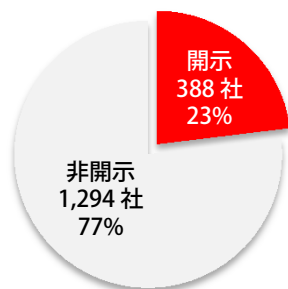


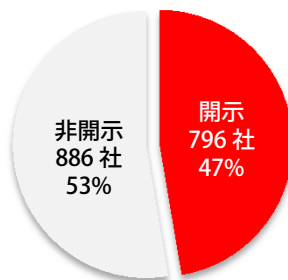
財翻リリース：2012年英文開示市場概況

日本市場の上場企業数は減少傾向にあるものの、海外の投資家は日本を重要な投資対象とし、また日本の上場企業は国内シェアの取り合いから脱却しグローバル化へと向かっており、海外に向けた説明責任と情報開示は増大傾向にあります。本紙では、現状及び過去3年間の開示状況の推移についてご紹介します。



英文招集通知開示状況

東証1部上場企業1,682社中、英文招集通知を開示している企業は**388社**(23%)となっています。およそ**4社に1社**が英文招集通知の開示をおこなうようになりました。

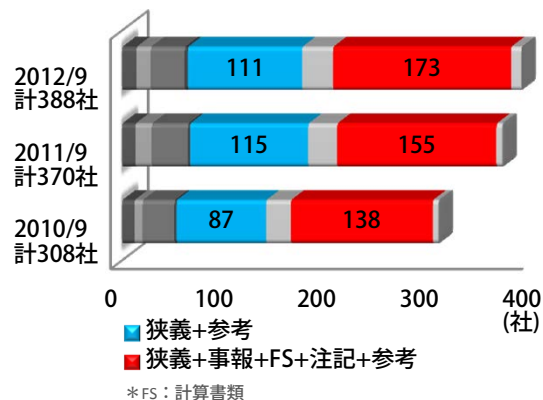
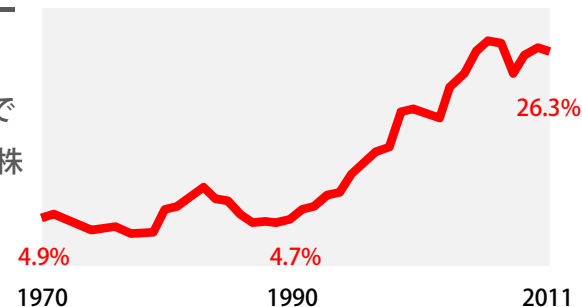


英文決算短信開示状況

東証1部上場企業1,682社中、英文決算短信を開示している企業は**796社**(47%)となっています。およそ**2社に1社**が英文決算短信の開示をおこなうようになりました。

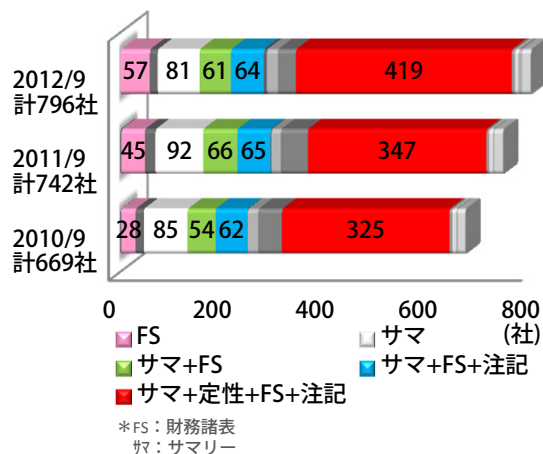
外国人株式保有比率 (東証 / 金額ベース)

リーマン・ショックおよび欧州債務危機で一度停滞したものの、2011年度の外国人株式保有比率は**26.3%**となっております。



英文招集通知開示範囲と推移

この3年間、英文招集通知を**開示する企業は増加**しています。開示範囲は[全訳]タイプか[狭義+参考]タイプのいずれか2択の状況です。2012年より部分開示していた企業が[全訳]タイプに転じる傾向がみられます。



英文決算短信開示範囲と推移

この3年間、英文決算短信を**開示する企業は増加**しています。開示範囲は[全訳]タイプが半数を占めている状況です。2012年より部分開示していた企業が[全訳]タイプに転じる傾向がみられます。